令和４年度 第１回宇部市地域密着型サービス運営委員会会議録

日時：令和５年２月７日（火）１９時３０分～２０時１０分
場所：宇部市役所　３－３会議室
出席者：【委　員】８名
　　【事務局】９名

会議内容：

① 宇部市地域密着型サービス事業所の指定等の状況について

（事務局）　資料１に基づき説明
【内容】
指定、更新、休止、廃止状況について報告。

（委員）　グループホームについて、入居希望者と施設数のバランスや施設の新設の方針など市の考えを教えてほしい。

（事務局）　議題の２にも関連してくるが、グループホーム含め、市内にどういった施設が必要であるか、というのは高齢者福祉計画の中で整理をしている。来年度計画策定の際に状況を把握しつつ、必要なサービスについて検討していく。

② 認知症対応型共同生活介護事業所の廃止について

（事務局）　資料２に基づき説明
【内容】
廃止する認知症対応型共同生活介護事業所についての説明を行い、併せて他の事業所の入所状況を調査した結果について報告。

（委員）　待機者が７６人いるということだが、期間としてはどのくらい待機しているか等の実態の把握はされているか。

（事務局）　期間等の個別の把握はしていないが、グループホームは移動が少なく、空いた頃に連絡すると既に他の施設に入所していたり、病院に入院していたり、まだ入居しないと逆に断られたり、マッチングが上手くいかないこともあると聞く。そのような状況なので、真の待機者がどの程度いらっしゃるのか、把握が難しいという事業所の声もある。

（委員）　グループホームを探されている人は、おそらく、身体は問題なく元気に動けるが、他の理由で困っており、すぐの入所を希望され

ている人が多いと思う。
そのため、グループホームに空きがなければ、他の手段を検討したり、すぐに入所できる他の施設を探して入所される人が多いのではないか。

（委員）　グループホームから退居する人や、入居出来なかった人は、その後どこで生活されているのか。

（事務局）　グループホームは、共同生活の場であり、事業所職員の支援のもと自立して生活できる人が利用している。
退去する人の理由としては、病状が重くなり病院への入院や介護度が重くなって特別養護老人ホームへの入居といったケースが見受けられる。
また、入居できなかった人は、市内には高齢者施設が多くあることから、例えば、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで、様々なサービスを組み合わせることによって、生活されているのではないか。

（会長）　空きのタイミングは状況次第など難しいところではあるが、希望した人が入れるような体制を望む。
今回の廃止に関しては事業所のことでもあるので仕方ない面があるが、次期高齢者福祉計画策定の中で高齢者が生活に困らないような適切なニーズの把握に努めて今後も対応していただきたい。

＜会議終了＞